

会員だより

ポーラ・シール

(食器に花を描く)

真っ白な食器に花などのシールを貼り付けて焼き、世界に一つしかない私の皿が出来ます。

まずいろいろの模様のシールがあります。主にきれいな花柄がたくさんあつて、その中から自分の好きなシールを選びます。ほんとは美しくてかわいい柄ばかりで、すっかり迷ってしまいました。お皿になったときの感じを思い描きながら、私は小さい花ばかりの柄に決めました。みんなそれぞれに違った柄を選んでいました。



私の作品

シールから適当に花の形や向きなどを考えて切り抜きます。それをボールの水に浸してしばらく置きます。絵が少し浮く

ような状態になったら、ピンセットでつまみ上げ白いお皿に絵の部分だけ台紙から剥がして貼り付けます。濡れているので動かすことが出来るので、配置を考えて位置を決めます。同様に次々に貼って行きます。そして貼り付けたシールが密着するように先がゴムのような用具で丁寧に貼り付けて出来上がりです。それ



みんなの作品

を焼付けに出します。

5日後、出来て来ました。かわいいけど、ちよつと淋しいようなお皿です。ほかの皆さんはとても素晴らしい作品を作っておられて感心しました。いっしょに作った方に私の作品を見せると、あなたらしい真面目な作品ですね。一と言われまし

言われるのだけど、私は面白くないと言われているような気がしています。フワフワどこか物足りない感じがしています。そもそも書道、絵画、音楽など芸術といわれるものが私には苦手なのです。

記・写真：牧戸富美子



オーストラリア・メルボルンとオーシャンロード紀行

その一

メルボルンの英国式街作り・公園作り

今年の3月29日、私達、年齢合わせて百六十歳夫婦は、次女の住むオーストラリア・ブリスベンより飛行機で約2時間離れたメルボルンで落ち合い、楽しく一週間の過ごし方をしました。

その上3月23日の小学校の卒業式を終えた孫と長女が即日成田を出発して、先に来て、ブリスベンで4日間過ごし、メルボルンで合流しました。いつもの通り驚異的なスケジュールです。娘二人とその夫と孫達十私達計8人のメルボルン・東南海岸ツアーは、ハブニングも多く、貴重な思い出深いものでした。まずメルボルン市内でアパ

アツツ桜

名前の由来の方が知られているかもしれない。昭和10年頃日本にイギリスから導入されましたが、昭和18年頃太平洋戦争で日本軍がアツツ島(北海道の根室とアメリカ・アラスカ州の間)占領したことを記念して、また反対に玉砕したことを悼んでも言われ、不明ながら、このことから業者がこの花を売出すために勝手に命名したとされている。

小球根植物、春に芽を出して草丈5cm~10cm。4~5月頃開花、秋に葉が枯れて冬は休眠。花色はピンク、紅、白など。南アフリカ原産。アツツ島云々と言っても聞いたこともない世代が多いし、地図でもなかなか見つかりません。なんと遠いところまで日本軍は出かけたものとあきれるばかりです。

記・写真：上村サト子



無料のトラム

ートメントと称するホテルにチェックイン。大きな2DK~3DKの台所・調理器具・食器・洗濯機・テレビなど生活に必要なものは全て揃っていて、観光の帰りにスーパーで食材を買ってきて、料理が出来たので、体調は

すこぶる上々でした。市内の中央部の賑やかな地域では何回乗っても無料のトラムを利用。メルボルンは

オーストラリアの中でも2番目の大都会です。市内にある移民博物館やメルボルン博物館やショッピングモールなど、建物一つ一つに風情があり、イギリスの植民地として発展した歴史を感じさせる街です。街の中心部を出ると都会とは思えないほど広大な植物園がいくつもあり、それぞれイギリスのガーデンを思い起させるものでした。フィッツロイガーデンにはイギリスより移築したキャプテン・クックの実家があり、質実剛健で、約二百年前の家族がそこにいるようでした。またさらに広い王立植物園でほんの一部のオーストラリアゾーンを散策するだけで珍



フリンドースストリート駅

しく美しい樹木や花に堪能しました。勿論ショッピングも高級街から市民の台所のような大マーケットまで、何度も往復しました。(その二・その三は、V G 観輪のホームページを御覧下さい。)

記・写真：上村サト子